

議員研修会を開催しました

令和4年12月20日、静岡大学防災総合センター 特任教授 岩田孝仁氏を招き、「減災から防災社会の構築～想像力の欠如に陥らない防災を目指して～」と題して、議員研修会を開催しました。

研修では、過去の災害の教訓などから「災害をいかに具体的に自分自身でイメージすることができるかが防災対策の鍵である」として、自分で自分を助ける「自助」、家族や地域コミュニティで助け合う「共助」、行政による救助・支援である「公助」、この3つの使命を一人一人が自覚することが重要であるなどの講義があり、議員からは防災・減災に関する多くの質問が出ました。

本市では南海トラフ巨大地震のほか津波・洪水・土砂災害など様々な自然災害の発生が想定されており、防災対策は喫緊の課題となっています。本研修会で学んだことを、今後の議会活動に生かしていきます。



委員会 レポート

委員会の行政視察報告

常任委員会（総務、文教産業、民生病院、建設水道）及び特別委員会等では、他の自治体の先進的な施策や取組を学ぶために行政視察を行っています。ここでは、今年度に実施した行政視察について報告します。

総務委員会

令和4年11月9日～10日

東京都狛江市 「主権者教育」

青森県弘前市 「投票率向上に関する投票環境の整備」



▲主権者教育について視察しました
(狛江市)

狛江市では、狛江市総合的な主権者教育計画策定の経緯や狙い、障がい者への投票支援などについての視察を行いました。障がいの有無にかかわらず、全ての当事者が自らの意思を決定し、そこから行動につなげられるよう、他者と連携・協働しながら自ら考え、行動できる人材を目指すべき主権者像として、分かりやすい主権者教育の手引きの作成や特別支援学校で投票を学ぶ授業の実施など、様々な取組を行っている点が参考になりました。

弘前市では、商業施設における期日前投票所の設置や共通投票所の設置についての視察を行い、共通投票所設置の経緯や設置までの準備などについて学びました。